

三朝町地域協議会設立10周年記念誌

三朝町の地域づくり

～三朝町地域協議会10年の歩み～



名勝小鹿溪と紅葉（小鹿地域協議会）



国宝「三徳山投入堂」（三徳地域協議会）



三朝温泉「河原風呂と三朝橋」（みささ村地域協議会）



馬場の滝（小河内）（高勢地域協議会）



本泉集落遠景（賀茂地域協議会）



若杉山から見たパノラマ（竹田地域協議会）

三朝町地域協議会連絡会

三朝町地域協議会 10 年の活動を振り返って

三朝町地域協議会連絡会 幹事 牧田幸一郎

三朝町地域協議会の設立 10 周年記念事業を皆様と共に開催できますことは、この上ない喜びであります。まずもって関係各位の皆様にお礼申し上げます。

さて、私たちの地域協議会は、「地域の総合力を高め、自立を促進する条例」を受け、平成 19 年に 6 つの地域協議会が産声をあげました。

設立時は、活動内容も手探りの状況でありました。人口減少、高齢化に加えて地域固有の課題等山積し、協議会の運営は苦悩の日々でありましたが、関係機関の温かいご支援と地域の皆さんの地道な取り組みによって、各地域の特徴を活かした新しい地域づくり活動が着実に進展していると感じております。

今後さらなる地域づくりを推進するため、この 10 年を節目として、原点に立ち返り、住民の一番身近な地域づくり組織であることを再認識し、その役割を果たしていかなければならないと、気持ちを新たにしているところであります。

皆様におかれましては、旧に倍してご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げる次第でございます。

最後になりましたが、この度の記念事業の開催にご尽力いただきました関係各位にあらためて感謝と敬意を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



三朝町地域協議会の設立 10 周年を祝して

三朝町長 吉田秀光

三朝町地域協議会が、設立 10 周年という節目の年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。

また、これまで、ご尽力されました関係者の皆様に深く感謝と敬意を表します。

さて、地域協議会は、平成 18 年 3 月「地域の総合力を高め、自立を促進する条例」が制定されたことを受け、地域の皆さんが真摯に協議を重ねられ、平成 19 年 1 月に町内 6 つの地域協議会が誕生いたしました。

町内各地域においては、これまで、地域協議会を核として実践してこられた地域づくりの活動が、確実にわが町の発展につながっていることを実感しております。

さて、日本の人口減少は、若年人口の減少と高齢人口の増加を伴いながら加速しており、政府は平成 26 年 12 月に地方創生に向けた施策の基本的な方向性や具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定されました。

本町においてもこの流れを受け、「三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、次世代へつなげる持続可能な町づくりを目指しています。これは、平成 22 年度に策定した「第 10 次三朝町総合計画」を基本としながら「三朝町人口ビジョン」を達成するための三朝町版総合戦略となるものであります。

地域の抱える課題が多岐にわたる今日、三朝町の豊富な資源に磨きをかけ、次世代へつなげていくためには、地域と行政が連携・協力しながら、取り組んでいく必要があります。

こうした中、各地域協議会は本町の地域づくりを進める上で、重要な役割を担っており、とても心強く感じています。

今後とも、地域協議会が核となり、本町の地域づくりを積極的に進めていただくとともに、地域協議会のさらなる発展を祈念しております。



三朝町地域協議会の設立の経緯

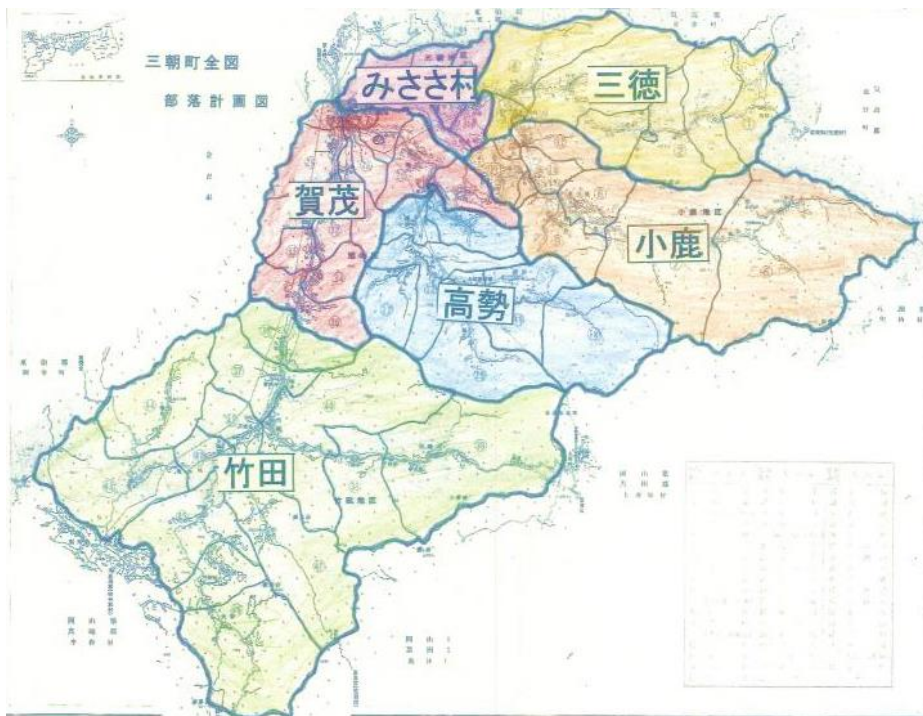
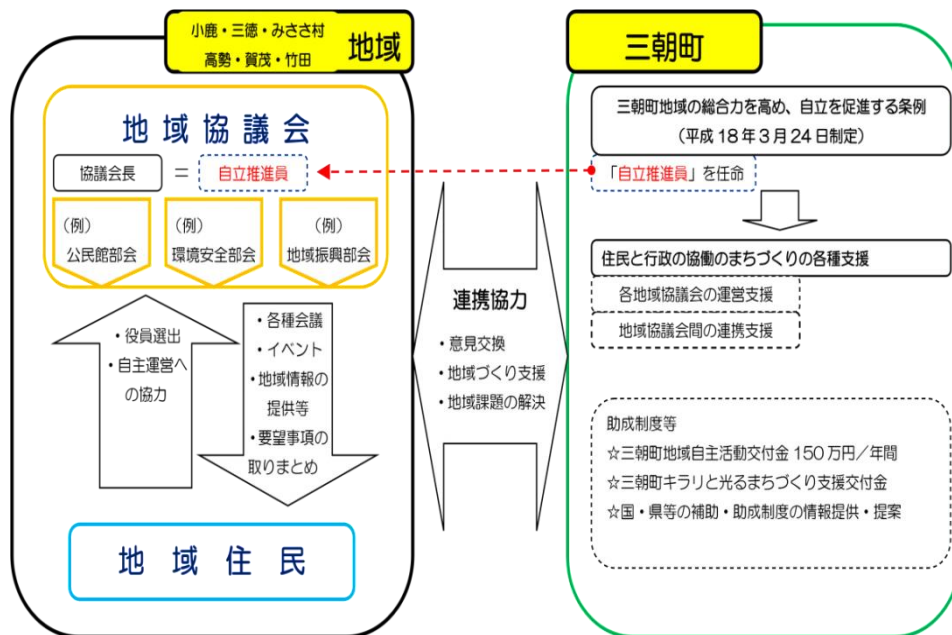
平成18年3月「三朝町地域の総合力を高め、自立を促進する条例」が制定されました。これは、いきいきとした、暮らしが実感できる地域づくりを推進するため、制定されたものです。

各地域においては、これを受け、様々な協議を経て平成19年に6地域協議会が設立。新しい体制による新しい地域づくりへの第1歩を踏み出しました。

地域がかかえる課題は、少子高齢化、人口減少、過疎化等様々なものがありますが、現在まで、各地域で地域協議会を核として、それぞれ地域の実情に応じて特徴のある事業を展開しながら、こうした課題解決に向け活動を展開しております。

(設立した6つの地域協議会) 小鹿地域協議会・三徳地域協議会・みささ村地域協議会
高勢地域協議会・賀茂地域協議会・竹田地域協議会

地域協議会の組織体制と三朝町の関わり (イメージ図)



活動紹介（小鹿地域協議会）

【取り組みの概要】

名勝小鹿溪、清流小鹿川、豊かな山林資源を有した小鹿地域は、現在9集落171戸で、山間地にあります。

鳥取市河原町西郷地区との交流活動、もみじまつりにより、にぎわいの創出や交流促進に努めています。また、小鹿溪をはじめ県道の草刈りや不法投棄・危険箇所への現地調査など環境美化活動にも取り組むとともに、地域づくり懇談会により、地域の課題解決に努めています。

（受賞歴）平成26年度鳥取県頑張る住民自治活動知事表彰
日本海新聞ふるさと大賞2013地域貢献賞

◆ 活動の紹介（設立時から継続している事業）

- ① 鳥取市河原町西郷地区との交流会
- ② 小鹿川と親しむ会（魚つかみ）
- ③ 小鹿溪一斉清掃（春・秋）と小鹿溪もみじ祭の開催
- ④ 集落対抗ソフトボール大会（毎年8月15日）
- ⑤ 小鹿女性の会（研修旅行、各種行事への参加協力）
- ⑥ 花いっぱい運動と環境美化支援
- ⑦ 環境パトロール（不法投棄、危険箇所見回り点検）
- ⑧ 校区秋季大運動会（東小学校と地域が合同で開催）
- ⑨ 高齢者と児童との協働作業と交流活動（東小学校クリーン活動）
- ⑩ 地域づくり懇談会（年1回）・・・小鹿川・小鹿溪の秘密を学ぶ

地域の特別な事業

- ① 有害鳥獣対策及び特産物振興（神倉大豆）（いのしし檻、大豆乾燥機の貸出）
- ② 農林道の除草剤支援
- ③ 地域の健康教室



名勝小鹿溪

○鳥取市河原町西郷地区とのGG交流会（平成17年度の大規模林道開通を記念して毎年親睦交流）

鳥取市河原町西郷地区との交流会を毎年、開催場所を交互に行っており、多くのチームが参加して交流の輪をさらに深めています。



○小鹿川と親しむ会（魚つかみ）

自然あふれる小鹿川にニジマスを放流し、子どもから高齢者までが魚つかみを行うほか川の歴史についても学びます。



○その他の活動（写真で紹介）



左上・上：東小クリーン活動によるバンビセンターの清掃、
終了後、小学生と老人会との交流
左・左下：小鹿溪もみじ祭りが観光客でにぎわう
下：東小校区大運動会で老いも若きも活躍



左上：名勝小鹿溪の一斉清掃
左下：健康教室を開催

右上：終了後、風光明媚な神倉冠巖（かんむりいわ）を望む
右下：「小鹿女性の会」の視察研修にて記念撮影



活動紹介（三徳地域協議会）

【取り組みの概要】

発足当初から「地域のことは地域で」をモットーに無理に背伸びせず、「日本一の田舎で行きましょう！」と試行錯誤しながら、田舎しかできないこと、田舎だから出来ることを日々考え取り組んでいる。

- ・「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に、東小学童クラブの運営
- ・先進的に取り組んでおられる地域への視察研修
- ・ミツガシワの保全保護とハナモモの植栽と管理
- ・地域住民の連携を大切にした対話集会とみとく祭りの開催
- ・結婚祝金、出産祝金制度による定住促進
- ・「三徳元気プロジェクト」を立ち上げ、三徳元気市を開催
- ・三徳山を守る会と共催で、三徳山ウォークで参加者へのおもてなし
- ・夏には、毎年さまざまな趣向をこらした子どもの体験活動を開催
(受賞歴) 平成 22 年度鳥取県頑張る住民自治活動知事表彰
平成 25 年度鳥取県美しいもりづくり功労者知事表彰

対話集会

毎年行われる、三徳地域対話集会是、各方面から講師を招き、地域の抱える問題を住民皆で共に考え、地域活性化のきっかけづくりとして重要な位置を占めています。



石川達之氏「心の健康～笑って元気に」



ハナモモの育成とミツガシワの保全管理

俵原集落を「花と緑の里」にしたい想いから“ハナモモ”の苗150本を植樹。また、可憐な花をつけ準絶滅危惧種に指定されているミツガシワを俵原住民と三徳地域協議会で守り育てています。



氷河期の生き残り「ミツガシワ」

ミツガシワは、珍しい植物として、毎年町内外から情報を聞きつけわざわざ見学に訪れる方もあります。

2年に一度の「珍動会」と2年に一度の「みとくまつり」



大人も子どもも一緒になって楽しむ、ちょっと変わった運動会ならぬ「珍動会」と、地域住民による芸能発表や屋台広場などで賑わう「みとくまつり」が2年に一度交互に開催されます。

東小学童クラブ

現在 31 名の児童が利用している「東小学童クラブ」。
放課後は「ただいまー！」と元気いっぱいここへ帰ってきます。みんなこの場所が大好きです。



先進地視察研修



毎年、さまざまな取り組みを出して、地域役立ちます。
また、先進的取り組みを域見、地と
さな先組の掛け、三徳化に
ま取り掛、活たい



三徳元気プロジェクト「三徳元気市」

三徳山「炎の祭典」と同時開催した、三徳元気市。たくさんのお客様の賑わいに終わりました。



三徳山ウォーク



毎年、女性会のメンバーが参加者へ心のこもった昼食を振舞います。大変好評で皆さん喜んで帰られます。



夏の体験活動

夏休みに、地域の子どもたちで色々な体験活動を行います。アウトドア体験・一休さん体験・災害疑似体験など毎年趣向を凝らした普段出来ない体験を行います。



活動紹介（みささ村地域協議会）

【取り組みの概要】

本協議会は、三朝温泉街のほか、公共施設や病院など町内の主要な施設を有しており外国人を含む多くの町民が居住している。このため、『交流』を柱に地域づくりを推進している。

- 1 来訪者への「おもてなし」の気持ちを込めた町民同士の相互交流
 - ・三朝温泉の玄関口「キュリー公園」の環境美化活動
 - ・温泉を活用した「芋煮会」での観光客と住民の交流
 - ・「親子レク&納涼祭」での自然体験活動と世代間を超えた交流
- 2 国籍を超えた町民同士の異文化交流
 - ・「国際料理楽校」での料理作りを通じた異文化交流

(受賞歴) 平成 23 年度鳥取県頑張る住民自治活動知事表彰
(地域活性化だけでなく、三朝温泉の魅力アップに寄与したことが評価)

○「キュリー公園」での環境美化活動

三朝温泉への来訪者への「おもてなし」のひとつとして、ウラン残土レンガを用いた「キュリー公園」の環境美化活動に取り組んでいるほか、各集落でも「花いっぱい運動」の取組を行い町民同士の相互交流を展開しています。



○温泉芋煮会

観光客と住民相互の交流を図るため、三朝温泉水を使った「温泉芋煮会」を行っています。大鍋に地元の特産品を食材として温泉で美味しく煮込んでいます。



○国際料理楽校

毎年地域に在住の外国の方と一緒に国際料理楽校を行っています。参加者全員で外国の料理を調理し、会食を行います。言葉が通じなくても、みんな楽しく和やかな雰囲気です。異文化交流をしています。



○親子レクリエーション&納涼祭

カジカガエルが住む清流三朝川での魚つかみ等の自然体験活動や災害に備えた体験活動を親子一緒に楽しみながら学ぶ「親子レクリエーション」と併せて納涼祭を実施し、世代間交流を図っています。



活動紹介（高勢地域協議会）

【取り組みの概要】

「地域のことは地域で守ろう」と危険箇所巡回パトロールなど環境美化や青少年育成に努めている。

また、運動会や高勢まつりなど地域行事の継続、特産品づくりとしてのナメコの生産活動と販売に努めるなど、積極的な地域活動も展開している。

- ・地元ホダ木を利用して植菌したなめこを生産（地域外からも注文を受付）
- ・男の料理教室を開催して、男女共同参画に取り組む。
- ・不法投棄防止や危険箇所点検のため、環境パトロールを年2回実施
- ・高勢まつりを毎年開催（芸能、作品展を開催）

（受賞歴）平成25年度鳥取県美しいもりづくり功労者知事表彰

日本海新聞ふるさと大賞2012 地域貢献賞

平成27年度鳥取県頑張る住民自治活動知事表彰

○特産品の原木ナメコの生産販売

代議員とボランティア20名は早朝から活動し、四千駒の菌を見事な大木に植付け、特産品の発育を楽しみに作業しました。植付け総数二万駒の菌が成長するようにと、妨げになる枝木等の除去作業にも熱が入っています。



○その他の活動（写真で紹介）

(1) 馬場の滝まつり



(2) 高勢いきいきサロン



(3) 青少年育成事業（鳥取県立博物館にて）



(4) ボランティアによる草刈り作業



(5) 高勢まつり



活動紹介（賀茂地域協議会）

【取り組みの概要】

休耕田を活用した「泥んこバレーボール世界選手権大会」は、県外からも多数参加があり、にぎわいの創出や交流促進に努めている。

また、特産品開発、地域懇談会により地域の課題解決を図るとともに、健康いきいき勉強会により健康意識の高揚に努めている。

（受賞歴）平成 24 年度鳥取県頑張る住民自治活動知事表彰

平成 25 年度鳥取県美しいもりづくり功労者知事表彰

○「泥んこバレーボール世界選手権大会」

賀茂地区公民館時代から開催し今年で12回を迎える。

最初は10チームからスタートし、最大30チームの参加があります。

これまで町内・外、県外から、延べ240チームの参加があり、文字通り世界大会を目指しています。



特産品開発



荒れてしまった竹林をきれいにする為に間伐と伐採をします。その時に出た竹を使った、竹炭の商品。



○その他の活動を写真で紹介
地域づくり懇談会



いきいき勉強会、 右：健康講習会&料理教室



右：ノルディックウォーク（パワースポットめぐり） 左：ノルディックウォーク講習会



骨密度・
体脂肪測定

左：賀茂まつり 右：運動会



活動紹介（竹田地域協議会）

【取り組みの概要】

青少年育成と高齢者に安全で心安らぐ地域づくりを推進しています。

- ・ 景観づくり活動の実施
 - ・ 高齢者配食サービスの実施
 - ・ 青少年育成活動（みささ南土曜楽校）の開催
 - ・ 学童保育の実施
 - ・ うどの栽培等地域の産業育成
 - ・ 女性の会「ざっこの会」による春と秋の山菜を食材とした「竹田御膳を楽しむ会」の開催
- （受賞歴）平成 25 年度鳥取県頑張る住民自治活動知事表彰
日本海新聞ふるさと大賞 2010 地域貢献賞

○うどの栽培

平成 21 年 8 月に穴鴨で沢山のうどの栽培をしておられた方から、畑の一部を譲り受け、産業振興部が主体となり「うどの栽培」を開始。平成 22 年春初収穫。同年 8 月には普及所から指導を受け、管理方法などを研修。平成 23 年からは、加工品にも力を入れ、近年ようやく軌道に乗り始めました。



左上：春の収穫を迎えました。
中上：うど
右上：夏の草取り
左下・右下：秋（枯れたうどを整理して根を残し、肥料を入れて畝を作り、冬を迎えます。）



○景観づくり

きれいな竹田作りを目指し、竹田地区公民館下の土手にあじさいを植え、管理をしています。



○ざっこの会

ざっこの会では、毎年春と秋に地元で採れた山菜を中心に「竹田御膳を楽しむ会」を開催しています。50食限定で募集し毎回町内外の皆様に来ていただき、大変好評を得ています。その他に「竹田おこわ」をイベント時に出店したり、地域の清掃活動、花壇の手入れなども行っています。



○高齢者への配食サービス

教育民生部が主体となり、高齢者の見守りを含めた配食サービスを年に3回行っています。対象は75歳以上のひとり暮らし高齢者と80歳以上の2人世帯で毎回約70個のお弁当を「ざっこの会」の会員が作り、対象者へ配食しています。



○学童クラブ・土曜楽校



非常食体験



クリスマス会

放課後学童クラブは年間を通して開設。また、土曜日に月1回のペースで「土曜楽校」を開催。南小の児童を対象にちまき作りや魚つかみ等、様々な内容を実施しています。





三朝温泉「花湯まつり」陣所（国指定重要無形民俗文化財）

三朝町地域協議会設立10周年記念誌
三朝町の地域づくり ～三朝町地域協議会10年の歩み～

平成28年7月発行

発行・編集 三朝町地域協議会連絡会
(小鹿・三徳・みささ村・高勢・賀茂・竹田地域協議会)

三朝町総合文化ホール
〒682-0195 鳥取県東伯郡三朝町大字大瀬 999-2
TEL:(0858)-43-3512 FAX:(0858)43-0647